

## 中学理科 B（生物・地学）の授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
理科	生物 地学	2年	必修	60	未来へひろがるサイエンス 2年3年 啓林館	iワーク 育伸社

\* 全クラス共通で実施

### 1 学習目標

年間学習目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
--------	---

### 2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	①動物の体のつくりとはたらき ②動物の行動のしくみ ③地球を取り巻く大地の動き ④大気中の水の変化	①天気の変化と大気の動き ②大気の動きと日本の四季 ③地球から宇宙へ ④太陽と恒星の動き	①月と金星の動きと見え方 ②生物のふえ方と成長 ③生物の種類の多様性と進化
備考			

\* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

### 3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	定期考査 小テスト 宿題テスト等 (配点分を40%に換算)	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階	総合評価・評定の算出 ・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り <u>知識等：思考等：主体的態度</u> <u>= 4：4：2</u>
	思考・判断・表現	定期考査 小テスト 宿題テスト等 (配点分を40%に換算)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階	
	主体的学習態度	課題 実験レポート ノート等		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C	3段階 3段階	

\* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

\* 評価・評定は理科 A（化学・物理）と理科 B（生物・地学）を総合して判断する。